

2011 商業施設士資格試験・構想表現(実技)試験

【文章表現】

◎「文章表現」の出題は下記の通りとなります。

次の「設問A」もしくは「設問B」のいずれかを選択し、それぞれの内容について答えなさい。

所定の答案用紙、2枚以上4枚以内にまとめること。

なお、各項の与条件等を考慮した文章・図表を用い表現すること。

(注：グラフ、機能図、概念図などにおいて表現する場合には、答案用紙内に記述のこと。)

(☆「設問A」問題文のあとに解答2例、「設問B」問題文のあとに解答2例をそれぞれ掲載)

設問 A 【災害被災都市の仮設商店街の計画】

東日本大震災では、多くの商店街が被害を受けた。

ある中都市のある商店街に商圈人口が 1 万人戻ったとして、30 店舗の仮設商店街を計画する。

仮設店舗は住宅併用とし、1 店舗 40 m²、予算は 300 万円として考える。

以上をふまえ、次の問いの(1)～(7)についてそれぞれ記述せよ。

参考資料

(図一1) 三陸沖の中都市の市民 1 人あたりの小売販売額 (1997 年から 2007 年までの変遷)

(図一2) 2007 年の宮城県県民 1 人あたりの主要業種別の消費額

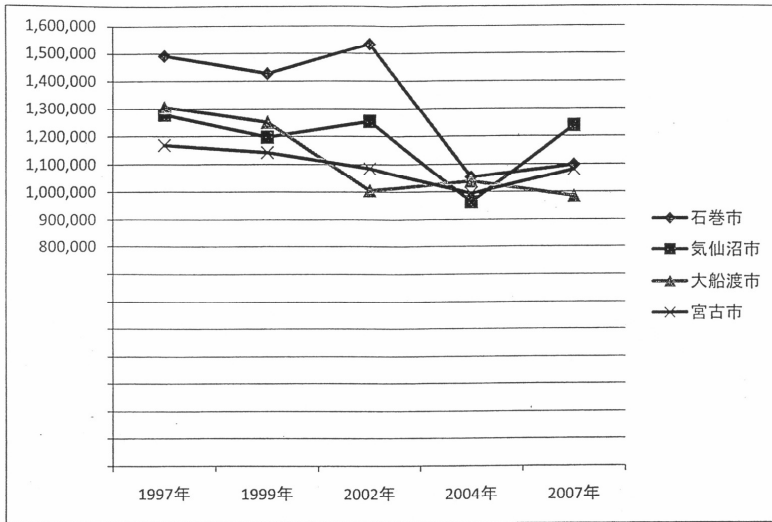
(図一3) アメリカで普及している 40 m²程のモービルホームの平面図

[※このモービルホームは 1 戸 250 万円で、これを導入する計画も可である]

[問い]

- (1) 最寄品の店舗数と揃えたい業種
- (2) 買回品の店舗数と揃えたい業種
- (3) 飲食店の店舗数と揃えたい業種
- (4) サービス業種の店舗数と揃えたい業種
- (5) 医療クリニックなどの施設数と揃えたい施設
- (6) 5 年間の仮設店舗の運営により、再建のための資金を得たい。店舗、飲食店のいずれか 1 店舗を設定し、1 日あたりの客単価と客数より年間販売額を算出せよ
- (7) この仮設商店街に対するアイデアを列記せよ (3 項目まで)

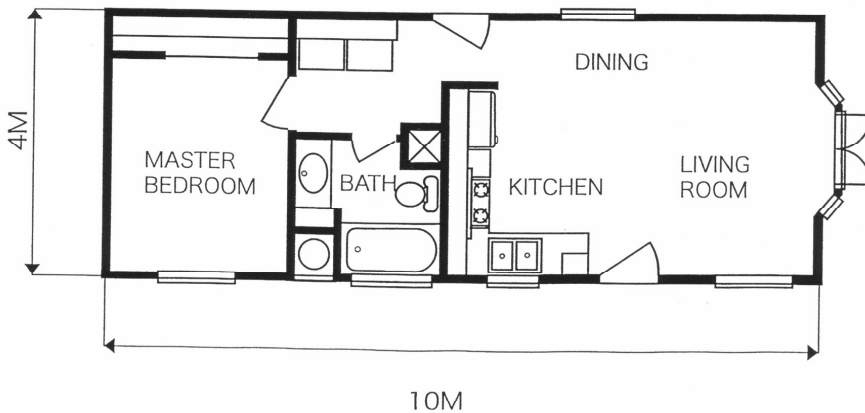
(図一) 三陸沖の中都市の市民 1 人あたりの小売販売額 (1997 年から 2007 年までの変遷)



(図二) 2007 年の宮城県県民 1 人あたりの主要業種別の消費額

百貨店 総合スーパー	衣服 身の回り品	飲食料品	自転車 自動車	家具、什器 機械器具	医薬品 機械器具	燃料	書籍 文房具
77,100 円	87,300 円	349,400 円	132,600 円	89,100 円	70,800 円	123,900 円	36,000 円

(図三) アメリカで普及している 40 m²程のモービルホームの平面図



解答例①

平成 23 年度商業施設士資格試験・構想表現試験『文章表現』答案用紙

選択した設問	A	受験番号		氏名		通し番号	1/3
--------	---	------	--	----	--	------	-----

(1) 最寄品の店舗数と揃えたい業種

- ・ 魚店
 - ・ 精肉店
 - ・ 青果店
 - ・ パン屋
 - ・ そろばん店
 - ・ 米屋
 - ・ 酒屋
 - ・ 和菓子・洋菓子店
 - ・ 花屋
- 以上 9 店舗

(2) 買回品の店舗数と揃えたい業種

- ・ 薬局
 - ・ ドライクリーニング
 - ・ 電気屋
 - ・ 洋服店
 - ・ 自転車屋
 - ・ 自動車販売店
 - ・ 文房具店
 - ・ 書店
 - ・ 家具屋
 - ・ 工具店
- 以上 10 店舗

(3) 飲食店の店舗数と揃えたい業種

- ・ カフェ
 - ・ 定食屋
 - ・ 居酒屋
- 以上 3 店舗

(4) サービス業種の店舗数と揃えたい業種

- ・ クリーニング店
 - ・ ガソリンスタンド
 - ・ お直し屋 (身の回り品の補修)
- 以上 3 店舗

選択した設問	
--------	--

受験番号	
------	--

氏名	
----	--

通し番号	2/3
------	-----

(5) 医療クリニックなどの施設数と揃えたい施設

- ・訪問看護ステーション
- ・内科
- ・耳鼻科
- ・眼科
- ・歯科

→以上5店舗

(6) 1日あたりの客単価と客数、年間販売額

設店：魚魚店

客単価：500円

客数：70人/1日

年間販売額：12775000円

(7) 仮設商店街に対するアイデア

① ボランティア住み込み型商店街

東日本大震災の被災地は、高齢化・人口減少が全国レベルを上回っている都市がほとんどである。しかしながら、「ボランティア」という形では、何万人もの若者が断片的に働いており、永住を決意した人々もいる。彼ら(彼女ら)に働く場所だけでなく、住む場所やコミュニティを提供し、元あった商店街以上の機能を創出する。店舗では後継者ができ若者が活気にもあふれる。住居という面では、若者に人気のルームシェアを取り入れることにより、1人1家が不要になり、住宅併用がしやすくなる。

② コンテナ型商店街

商店街の店舗は、「コンテナ」で形成を可能。安価であり、「レンタル」というシステムが既に構築されているコンテナは、経済的な面から見て、「仮設」に大変適している。また、加工がしやすく、耐久性に優れている点も、メリットがある。

③ MIX型商店街

被災地の生活で早くに必要とされていること、復旧可能なこと、購買活動と医療活動がある。商店街の中にあたる

平成 23 年度商業施設士資格試験・構想表現試験『文章表現』答案用紙

選択した
設問 A

受験番号

氏名

通し番号 3/3

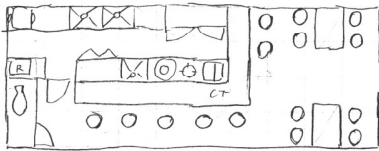
多くの医療施設を設ける(MI⁺)ことで、買い物ついでに病院に行く、買い物ついでに介護をあるといったように高齢者、交通弱者が多くの地域では、経済的に日常生活が送れる。また、医療施設のみ用事がある場合でも、地域のコミュニティに触れたり、賑わいのある商店街へ足を運ぶことで、心のケアにもなる。被災地で必要とされているリフト面をいードへ反映あることが、被災地で必要は商店街のあるべき姿だと考える。

解答例②

平成 23 年度商業施設士資格試験・構想表現試験『文章表現』答案用紙

選択した設問	A	受験番号		氏名		通し番号	1/2
--------	---	------	--	----	--	------	-----

- (1) 最善品の店舗数：7店 生鮮食品（青果等、鮮魚等、精肉等）、酒屋、10店舗、食料品店、ドラッグストア。
- (2) 買回品の店舗数：6店 婦人衣料品店、紳士服、子供服、靴店、眼鏡店、本屋。
- (3) 飲食店の店舗数：5店 うどん・そば、ラーメン、和食、洋食、喫茶店。
- (4) サービス業種の店舗数：4店 銀行、郵便局、クリーニング、訪問介護サービス。
- (5) 医療施設数：8店 小児・内科、外科、眼科、歯科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、総合薬局。
- (6) ラーメン店。40m²の敷地に住宅併用店舗は1店舗の2階建てとし、1Fを店舗、2Fを住居とする。両親と子供1人の家族構成、子供は小学生、夫婦2人で片切り盛りをする（従業員は雇わず）。



11時～22時。休日は交代で随時とする。計算上は平均1000円、1日当たり30人来店→日商3万円、年商1080万円。

4の場合、原価率を30%とし、他の経費は10%の通りとする。家賃は考慮しない。延べて、5年間の利益＝貯蓄は600万円。これを頭金に再建を考へる。

(9) 前回の改修大震災の時に問題には、隣同士は近所さん、共に毎年年等リは設備は年々もよくなるが精神的には安心できると言われた。余計なことをしなくて済むのは良いが、できる限りは、単独での行動でなく知り合い同士で出掛けると増え、商店街の活性化（より多くの人が来る）に繋がると言われた。

月商	90万(円)
原材料費	27万
水道料費	10万
雑費	3万
給料	35万
返済	5万
<u>利益</u>	<u>10万</u>

平成 23 年度商業施設士資格試験・構想表現試験『文章表現』答案用紙

選択した 設問	A	受験番号		氏名		通し番号	2/2
------------	---	------	--	----	--	------	-----

1. 店舗の中心は味、全店の単価で作るとすると何と
 んとが二階建てにせよを得た。その得られたのは、2~
 3種の店を一緒にして手前を店舗、奥を住居とする。その
 了と才と、青果店と食料品店、食料品店と「ら、い」スト
 下、従業員の数に、これと可能になり。医療分野では、専門
 医を雇う、と才とと他科外科病の耳鼻咽喉科は同じ建物
 下でよい。たしう。処置室を区切り各科とし、併合して
 従業員の数と、一又は共有才と中、たし(仁学問)は
 了。その場合、経営形態や運営方法を十分に検討する必要
 がある。

郵便局や銀行、介護施設や人権センターなど、これらに
 して、本来のサービスと業務の他に、住民の憩いのスペース
 として活用してはどうか。また、この施設は店舗の住
 宅では不当に感じられる。実際の被害を発生しては、
 1. ので相対的に過剰に「た」のたが、恐怖感や不安感に
 っして「た」のたが「た」のたが、その「た」のたが
 住宅に方々の気がたして「た」のたが、一瞬で「た」のた
 身しとた「た」のたが「た」のたが、その「た」のたが
 との街と商店街は「た」のたが「た」のたが、その「た」のたが
 店街が「た」のたが「た」のたが、その「た」のたが「た」のたが
 た、その「た」のたが「た」のたが「た」のたが「た」のたが